



盆踊りが盛大に行われる広々とした境内

八尾は歴史のある街で、由緒あるものが多い。この常光寺もその一つだ。寺は八尾市街地にあり、

お盆には盆踊りのメイン会場になる。境内の橋を囲んで幾重もの輪ができて、有名な流し正調河内



夏の陣伝える本堂の血天井

年前までは八尾市の一大イベントであった。最近、踊り時間の短縮も相まって、踊りを楽しむ人波は少なくなった。尚に「常光寺」・「初日

代争いで、楠正成の家臣の八尾別当頭幸が南朝のために戦った。また、元和元年の大坂夏の陣の合戦でも、西軍の長曾我

おおぞかウォッチング

248

将軍義満公の筆と伝えられている山門の常光寺扁

新自由主義に哲学はない。拝金主義の人間疎外の論理しかない。少く荒っぽい、イギリス・アメリカの文学に哲学はない。哲学とは「人間の存在」を考へることである。そのような哲学のないイギリス・アメリカ風の思考から自らの利

不条理の感覚を呼び覚ませ

大西 和典 (高槻市)

「不条理に反抗」するのでなく、誰かが「この状況を打開してくれる」と考えるのだ。不条理とは、理性を保ったまま世界に對峙するとき、その不合理性を凝視しつづけることを「反抗」とカミュは言う。

日本の民主主義は、顧客民主主義だと言われる。「不条理」を観なければならぬ。民主主義が自ら勝ち取る物であるなら、本来の歯科医療も歯達の手で実現しなければならぬ。まず今の状況を認識することが端緒を開く。「反抗」は、人間らしい生活を保障しない状況に「ノン」ということだ。

益を優先する経済体制が生まれた。それが人間疎外の論理を内包する新自由主義であり、その新自由主義に酩酊しているのが、今私達を取り巻く状況であろう。マハティールは、政官財そしてマスコミが一体となり、日本の実情を考慮することなく新自由主義を取り入れたことが、今日の日本の衰退を招いていると言っている。

状況といえば、例えば原発、反貧困、震災復興など、私達と同じ不条理を抱えた人達もいる。少し酔いを醒ませ、この状況の「不条理」を観なければならぬ。民主主義が自ら勝ち取る物であるなら、本来の歯科医療も歯達の手で実現しなければならぬ。まず今の状況を認識することが端緒を開く。「反抗」は、人間らしい生活を保障しない状況に「ノン」ということだ。

談話室 だんわ室

カミュ生誕100周年で、未完の遺作である「最初の人間」が映画化された。今は、ほとんど話題に上ることのないカミュだが、不条理「反抗」という言葉は、今こそ思い返さなければならぬものだと思う。

何か重圧を常に感じていると思うなら、今の状況を問い直してみよう。歯科疾患を適正に治療したとき、今の診療報酬で十全だろうか。歯科医も患者も満足できる診療報酬ではないはずだ。では、なぜそうなったのか。いかでそれを語らなければならぬのか。

女性医師・歯科医師の会は2月23日、「よりよい摂食・嚥下障害リハのためのシンポジウム」を保険医会館で開き、41人が参加した。パネリスト

は歯科医師の村田雄子、内科医の嶋田一郎、管理栄養士の笹野弘子の3氏。村田氏は摂食・嚥下障害の症状を解説。食事時の誤嚥を見極めるサインとして①むせや咳き込み②痰の増加③食べこぼし④食事時間の延長の4ポイントを紹介した。

嶋田氏は摂食・嚥下障害の3大原因である脳血管障害、パーキンソン病、認知症について解説。それぞれの病態から生じる様々な障害との関連から摂食・嚥下障害を捉える必要性を述べた。身体機能低下から摂食できない場合、口の機能低下に拍車がかか

り、口腔内の衛生状態が悪化し、肺炎の危険度が高まるとし、さらには食べる楽しみを失い、喋る気力を奪うなど患者のQOL低下につながる指摘。これを防ぐため歯科と連携した口腔ケアやリハビリテーションが重要であると強調した。

笹野氏は、ミキサー固形食導入の成果について実例を交えて報告。見た目が悪く、食べづらく、食べ残しも多かった従来食のミキサー食に比べ、ミキサー固形食はソフト食の物性(①舌でつぶせる固さ)②食塊としてまとまる③喉のすべりが良い)を実現できるようになったと指摘。利用者目線で提供できることから利用者の食欲が湧き、QOLの向上につながると強調した。

女性医師・歯科医師の会 摂食・嚥下でシンポ



左から嶋田一郎、村田雄子、笹野弘子の各氏

り、口腔内の衛生状態が悪化し、肺炎の危険度が高まるとし、さらには食べる楽しみを失い、喋る気力を奪うなど患者のQOL低下につながる指摘。これを防ぐため歯科と連携した口腔ケアやリハビリテーションが重要であると強調した。

協会行事案内

電話 06-6568-7731
お申し込みは ファクス 06-6568-0564

堺・高石・和泉地区総会・記念講演
患者を口腔外科に紹介する時の注意点
口腔粘膜疾患から周術期口腔機能管理まで
日時 3月30日(土) 午後6時30分～9時
会場 サンスクエア堺(JR阪和線「堺市」駅下車3分)
講師 小倉孝文氏(市立堺病院歯科口腔外科部長)
会費 会員無料、未入会者1万円 定員 50人
東大阪・八尾・柏原地区総会・記念講演
患者トラブルを解決する「技術」
日時 3月30日(土) 午後7時～9時
会場 保険医会館
講師 尾内康彦氏(大阪府保険医協会事務局次長)
会費 会員無料、未入会者1万円
定員 50人

「顎堤吸収の著しい下顎無歯顎症例への対応」
よい義歯とだめな義歯を分ける7つのルール
4月度生涯研修
日時 4月13日(土) 午後6時～8時
会場 M&Dホール 会費 千円
講師 原田文司氏(大阪大学大学院歯学研究科口腔外科学第一教室助教)
定員 100人(要事前申込み)
内容 ①偶発症に対する緊急時の対応、②医療事故、③感染症対策等の医療安全対策
対象 会員本人に限る。なお、開催途中に入退場される場合は修了証を発行いたしません

社保講習会
返戻事例と突合・縦覧点検・算定日記載による審査
日時 4月27日(土) 午後6時～8時
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 社保研究部講師団
会費 会員無料、未入会者1万円
※「歯科保険診療の研究(2012年4月版)」をご持参ください

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。